

大分県立日出暘谷・日出総合高等学校

学び発新!

創刊号

平成26年6月19日(木)

TEL0977-72-2855 発行:総合学科

学びの日出

「学びの日出」 創刊にあたって

平成9年に県内で2番目に誕生した、県下に4つしかない「総合学科」をもつ伝統ある高校です。更に、昨年4月に日出暘谷高校と山香農業高校を発展的に統合し、専門学科と総合学科を有し総合選択制を取り入れた県下初の新しいタイプの高校として、大分県立日出総合高等学校が開校しました。

学びとは、「何らかのものごとを新しく身に着けるようとする営み」です。昨日までとは違う新たな自分に「学び」が、それを叶えてくれます。「生きるとは学び続けること」。そんな期待を広く発信します。

校長先生の話 から学ぶ

今年の入学式で清末校長先生から3つの話がありました。

1つ目は、「向学心を持ち続けて欲しい」。つねに自分自身としっかり向き合い、今の自分はこれでいいのか、今の自分は何が足りないのか、これから何をすれば良いのかなど、絶えず自分に問いかけて下さい。

2つ目は「多くの友達を作って欲しい」。高校生活では、中学時代とは違った幅広い様々な体験をします。人間の生活は、決して一人の力では成り立ちません。他人の良さを認めたり自分を認めてもらったりする豊かな心が大切。多くの友達を作って、目標を達成するための大きなエネルギーにして欲しい。

3つ目は「健康管理に努力して欲しい」。これから先のためまぐるしく変化していく複雑な社会を生き抜くためには、心身ともに健康であることが大切。家庭や学校での生活のリズムをしっかり作ること、部活動やボランティア活動に積極的に参加して、自己の可能性をさらに大きく広げて下さい。という、3つでした。(抜粋)

あらためて読み直すと、気づくことも多いのではないのでしょうか?

本校の教育目標は、「知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を実践し、一人一人の個性の伸長を図るとともに、豊かな人間性とグローバルな感覚を備え、国家や社会の発展に貢献する人材を育成する」です。

「学び」をキーワードに、新しい歴史の創造を目指し、学び続ける姿に大いに期待しながら創刊します。

3年 総合学科 国際文化(文系)系列 惣間 史佳 さん(前期生徒会長)

学ぶ 「自分の夢に向けて」

本校の総合学科は、自分の興味や関心にあった教科を選択することができます。

1年の時は「この人に学ぶ」という、職場を実際に訪問し、仕事をしている人に直接、質問し知識を増やし、2年時には、自分の興味関心に合わせて、実際に仕事を体験する5日間の「インターンシップ」もあり、多くのことを学び、経験できます。

今、3年生は、1・2年時で学んだことを生かし、一人一人が興味関心に応じて、卒業研究テーマを決定。1年間の本格的な研究活動に入っています。

自分の夢に向け、一步ずつ前進することが出来る高校、それが、日出暘谷・日出総合高校です。



日出暘谷・日出総合高校の

学びの目標

一人ひとりの個性を伸ばして

グローバルな感覚を備えて、国家や社会の発展に貢献しよう!

知

徳

体

1 年生のページ 日出総合 総合学科 (第2期生) 何するん?

1年生の必修科目「産業社会と人間」(2単位)では、1学期に将来の職業選択を踏まえて、仕事内容を観察し、質問することによって、勤労観、職業観を育成することを目標に、今年から夏休みに「この人に学ぶ(ジョブシャドウイング)」を実施します。

各自の訪問事業所もほぼ決まり、実施に向けた最終準備に入っています。1年生総合学科119名全員が7月22日(月)～25日(金)の1日で実施する体験学習ですが、将来の就職を考える上で、きっと貴重な経験となることでしょう。

2学期には、グループ別・学年別の発表報告会も予定されています。更に、3学期には、代表が学習成果発表会で発表予定です。遅しく、成長していく1年生に大いに期待しています!



〇1 年生 この人に学ぶ(ジョブシャドウイング)の活動予定

	これからの学習項目	内容
7月	ジョブシャドウイングの事前学習Ⅳ	礼法指導、礼状の作成としおりの完成等
8月	ジョブシャドウイングの実践	7月22日(月)～25日(金)の1日 で実施
9月	ジョブシャドウイングの「グループ別」発表会	ジョブシャドウイングの班別報告会
10月	ジョブシャドウイングの「学年全体」発表会	ジョブシャドウイングの学年報告会

「産業社会と人間」 この人に学ぶ(ジョブシャドウイング)

総合学科 1年3組 前田 賢也 さん

夏に学ぶ1 「ジョブシャドウイング参加を前に」

将来、人のために役に立つ仕事に就きたいと考えていました。そのような思いもあったので、「ジョブシャドウイング」の訪問先に、人命救助や地域に大きく貢献している消防署を選びました。

自分で事業所に電話をかけ、正式なアポイントをとることも学びました。実際に職場に伺い、仕事内容や職場の様子を質問もすることができるので、外からでは見ることができない実際の仕事内容や職場環境について、しっかりと学びたいです。

そして、その学びを、今後の進路決定に生かしていきたいと思えます。



ちょっと聞いてE! ジョブシャドウイング って何?

生徒一人が企業の社員一人に数時間、シャドウ(影)のようについてまわり、社員が仕事をする姿を通して会議の熱気や緊張感を感じ、一部の仕事を手伝いながら、仕事の厳しさを肌身で体験するものです。

(平成25年度より、大分県教育委員会が全県に推進する事業)

目的は、「仕事に打ち込む人の姿」を身近で観察する機会の中、やがて訪れる進路選択・進路設計・職業選択に役立てる学びで、本校は、県内でも先進的・本格的に取り組んでいる高校の1つです。

地域社会の事業所様と共同して、初めて実現できる魅力溢れる「学び」です。 <()>

もっと聞いてE! 「産業社会と人間」の授業 って何?

学校設定教科に属する科目で、総合学科の課程では原則、全ての生徒が入学年次に履修する科目です。

「産業社会における自己の在り方生き方について考え、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに生徒の主体的な各教科・科目の選択に役立てることを目標とした時間です。

広告：商業部開発商品 甘酒仕立て乳酸菌ゼリー @官兵衛 好評販売中！ 公式WEB: atto-kanbey.com で購入できます

2年生のページ 日出総合 総合学科 (第1期生) 只今、学びにしらしんけん!

今年から始まった、第1期生の「オンリーワン・タイム」(OOT おーおーていー)【総合的な学習の時間】です。「オンリーワン」、これは、新校歌に何度も登場するフレーズであり、本校の学びの特徴を表すものです。

この時間では、1学期をかけて自らの学習内容や将来の進路等に関連した就業体験(インターンシップ)に向けた準備を行っています。夏休みに全員が、原則5日間のインターンシップを県下に先駆けて実施し、今年で3年目を迎える本校の特色ある取り組み授業の1つです。就業事業所も決定し、実施に向けた最終準備中!!

夏に頑張る!2年生総合学科116名全員にエールを送ります。2学期には、グループ別・学年別の発表報告会も予定。更に、3学期には、代表者が全校学習成果発表会で発表予定です。

第1期の使命をもった学年の成長した姿に、大いに期待ですね!

2年生 総合学科 人文科学(文系)系列 **岡田 幸奈** さん

夏に学ぶ2 「5日間のインターンシップを前に」

日出総合高校の大きな特徴である、2年生の夏のインターンシップを、私は保育園で実施します。本校のインターンシップは、セルフプロデュース型で、全員が自分の就業先は、自分で探し、自ら電話でお願いする先進的なインターンシップです。

私が、就業先を選んだ理由は、小さい頃から、先生という職業に興味があり、将来、子どもたちに関わっていく職業に就きたいと考えているからです。

5日間という、短い期間ですが、一生懸命に取り組み、仕事内容や子どもへの接し方など、いろいろなことを学び、たくさんのことを吸収したいと思っています。



朝鍛夕鍊 更なる高みへ ~2年生ながら、大分県高校生弓道NO.1に~

2年生 総合学科 情報ビジネス(商業)系列 **合原 賢生** さん

「大分県高校総体 弓道男子個人優勝 & インターハイに向けて」

自分は、本校入学後に弓道を始めました。初めの頃は、この競技がこんなに難しいものとは思っていませんでしたが、顧問の安部智先生と馬場先生のご指導の下、今年の大分県高校総体の弓道個人戦で、優勝することができました。

夏のインターハイでは、日頃の成果を発揮して、決勝まで残れるように頑張っていきたいと思います。

今年の全国高校総体の弓道は、東京都足立区の東京武道館で開催されます。



Mini コラム TIDOU



16年前の日出暁谷開校のシンボル。この彫刻は、日出町在住で日展評議員の女性彫刻家 辻畑隆子先生作品です。先生40代を代表する作品の1つです。歴史的な価値が出てくるのは、むしろこれからかもしれません。

辻畑先生は、日出総合高校校歌も作詞されています。日本を代表する彫刻家でありながら、作詞もされる

大変、多才な方です。大分県内には、他にも辻畑先生の作品が多数あります。日出町役場前の女性像、JR別府駅前の油屋熊八像、竹田市歴史資料館前の広瀬武夫像等々です。ユニークな調査研究のテーマの1つ!??

YOKOKU RISING SUN

3年生のページ 日出暘谷高校 第16期生 (最後の暘谷3年生) 何しよん?

3年生の暘谷の時間(総合的な学習の時間 2単位)は、いよいよ今年で最後となります。この時間は、本校での学びの集大成として、毎年、1年間かけて卒業研究を行っています。自分の興味・関心、または、進路につながる等の研究テーマを専門のゼミ(13名程度)に所属し、面談などを経て決定しました。

テーマ決定後は、本校図書館や県立図書館等から、資料を取り寄せながらの調査研究や、作品製作、また、アンケートをとったり、現地に赴きインタビュー等も実施して、それをまとめる力も養っていきます。

最後には、ゼミ・学年単位での発表を経て、代表者が、1月の全校学習成果発表会でプレゼン発表を行います!

○3年生 卒業研究【暘谷の時間(総合的な学習の時間)】の活動予定

6月	24	67	①研究活動Ⅲ
7月	8	67	②研究活動Ⅳ
	15	67	③研究活動Ⅴ 個人・チーム面談
8月	6		夏休み研究課題の中間提出等
	26	67	④ゼミ毎に中間発表会準備
9月	2	67	⑤中間発表会の準備・研究活動
	9	67	⑥中間発表会の準備・研究活動
	16	67	⑦中間全体発表会 ~ 10月7日 まで

総合学科 3年生 流通サービス(商業)系列 魚屋 聖奈 さん

「卒業研究 テーマ:少年・少女の非行をとりまく原因・環境について」

私は大学で心理学を学び、家庭環境や人間関係などで様々な問題を抱える子どもたちが非行に走ってしまった子どもたちが生活している更正施設で、働きたいと考えています。そこで、これらの問題を抱えた子どもたちの根底に潜んだ問題について、研究したいと思います。

そして、自分の今後の大学・就職に向けての知識をつけたいです。



万里一步 ●

「その学校の学びは、「総合的な学習の時間」を見れば分かる」という、箴言(しんげん)があります。

本校で学んだ結果、1年間、更に3年間で何が表現できるのか? どれも、すぐに成果が出るものではありません。生徒はもちろん、教職員、家庭、地域社会も含め、「学び」とは何か? 「生きるとは」何か? この遥か長い道のりを共に歩みながら、考え、行動していくことが重要です。

地球一周の距離は約4万km。ただ、毎日歩けば、3年間あれば1周できる距離でもあります。家庭や地域の方々との連携を一層深め、様々な困難を乗り越えながら、みんなで支え合う学校、一人一人を大切にす学校、愛され信頼される学校としての「学び」へ。 オンリーワンの「学び」、一步踏み出します。

2014.6 総合学科主任

* 自薦他薦を問わず、新たな情報を募集中です! 最寄りの総合学科担当の先生まで

・ 日出暘谷高校の校訓 since 1997

・ 日出総合高校の校訓 since 2013

勉学

強健

友愛

学びの
日出

向学

感謝

剛健